

新ビジョンに向けた 職員提言



みのりん

農林水産局

福岡市は恵まれた
自然を有している。



他都市(人口100万人以上)
と比較してみると……

都市	市域に占める 農地面積 の割合	市域に占める 森林面積 の割合	海岸線 の延長 (Km)
横浜市	5.3%	8.7%	139.2
大阪市	0.7%	0.0%	75.1
名古屋市	2.8%	3.5%	49.9
札幌市	2.1%	60.4%	0
神戸市	7.0%	40.7%	132.9
京都市	2.4%	73.6%	0
福岡市	5.9%	32.5%	133.6
川崎市	3.5%	4.7%	62
さいたま市	14.9%	2.1%	0
広島市	2.3%	66.7%	69.9
仙台市	7.5%	56.8%	21.7

農地が3%未満
の都市が5市

森林が10%未満
の都市が5市

海岸線がない
都市が3市

人口が145万人超でありながら、
豊かな自然(農地、森林、海)にも恵まれ、
さらに、都心からすぐに行くことができる。

「ほどよく都会、ほどよく田舎」

豊かな自然と都市活動が調和

西区金武地区の水田



遠くに見えるのは福岡タワーとヤフードーム
都市と自然が共存する福岡ならではの光景。

この**魅力**にみんな気づいているか？
活かしきれているか？
守っていこうとしているか？

豊かな**自然**＝都市(ふくおか)の**魅力**



野田地区の棚田と脇山地区の遠景

油山市民の森(中央展望台)
からの眺望



野鳥を育む今津湾



西区北崎からの眺望



左奥は能古島、その合間の中央に福岡タワー、
ヤフードームが見える。

志賀島中央部にある
汐見公園から見る朝日



早良区脇山の田園風景



脇山中央公園から臨む眺望



このような
豊かな**自然**＝都市の魅力
を守り、支えているのが、

農林水産業

農林水産業の歴史は
古代(縄文時代、弥生時代)に遡る。

私たちは、ずっと昔から食糧を生産し、食べてきた。

農林水産業は、食糧を生産し、
健康で元気な人をつくる
命の根源

Culture(文化)の語源は
「耕す」という意味の
Cultulaというラテン語

「耕す」



(動植物)の育成、培養



心を耕す、心の育成、涵養



文化

農林水産業は文化的な行為であり、
「文化的都市」を支えるものである。

Culture = 文化

福岡市が「文化的都市」たりえるためには
農林水産業の持続可能な発展が不可欠

1990年代半ば以降、インターネット
や携帯電話が普及。

高度情報化の進展により、いろんな
ものが電子化され、私たちの生活は
大きく変わった。

- 固定電話 → 携帯電話
- ハガキ、手紙 → メール
- 切符 → ICカード(はやかけん)
- レコード・CD → データ配信
- 本、雑誌 → 電子書籍(配信)
- お金 → 電子マネー

でも、命の根源である
食べ物は、決して電子化できない。

私たちは、これからも食糧を生産し、食べていく。

福岡市が目指す都市像は？

25年後も市民が「住みやすい」
と思う都市であり続けるためには、
「豊かさ」を実感できる都市へ

25年後の「豊かさ」とは・・・

時代とともに変わってきた
「豊かさ」の象徴

- 三種の神器
- 新・三種の神器(3C)
- デジタル三種の神器

三種の神器

1950年代後半

白黒テレビ

冷蔵庫

洗濯機

新・三種の神器(3C)

1960年代半ば

カラーテレビ (Color television)

クーラー (Cooler)

自動車 (Car)

そして、バブル期を経て
デジタル三種の神器

平成15年頃

デジタルカメラ

DVDレコーダー

薄型テレビ

これまで「豊かさ」は、物質的なもので象徴されてきた。

25年後は

お金で買える「物質的な豊かさ」は満たされ、人は、お金では買えない、

- 都市を離れた自然との触れ合い
- 多彩な都市文化の享受
- 多種多様な人との交流の機会

など「精神的な豊かさ」を求めるようになる。

25年後の

「豊かな都市」の象徴は……

3C

快適さ(Comfort)

文化(Culture)

交流(Communication)

快適都市

豊かな自然と都市活動が
調和し、住みやすさを実感

- ★秩序ある都市基盤整備
- ★豊かな自然に囲まれた潤いのある空間

快適な
都市環境で

文化都市

洗練された文化により、
仕事、生活、余暇が充実

- ★洗練された食文化
- ★自然の中での活動、娯楽
- ★多彩な都市文化(芸術、健康、教育)

洗練された
文化に触れ

交流都市

人と人の交流、連携が
活発

- ★地域コミュニティが活性化
- ★都市部と農漁村部の交流
- ★行政、大学、企業、NPO法人などの活発な交流・連携
- ★アジアをはじめ、外国人との交流

いろいろな人と
関わって

人は「豊かさ」を実感する。

25年後に
向けて

福岡市が目指す都市像は？

真の豊かさを創造する
「文化的都市」ふくおか
を目指そう！

文化的都市を支える農林水産業

癒し、潤い
の創造

国土保全
防災

食・健康

農林水産業
市場流通

環境保全

教育・食育

経済振興

環境保全

森林、農地はCO2吸収に大きな役割



適切に管理されていない
荒廃した森林



間伐等を行い、
公益的機能を取り戻した森林

農地及び森林で市域の40%を占めている。

快適
都市

環境保全

森と海の再生交流事業

山・川・海は一体的な生態系であり、森林から供給される水が豊かな漁場を育む。

漁業・林業関係者、市民ボランティア団体等が共働して植林を実施



交流
都市

国土保全
防災

温暖湿潤な日本の気候

→ 土砂流出、洪水といった災害の危険

- 森林の土砂の流出・崩壊の防備機能
- 森林の水源涵養機能
- 農地の治水、保水機能



国土保全
防災

井堰は、利水と治水の機能

利水 田に水を引き入れ農業用水として利用

治水 水の流量を制御、調整



教育・食育

農林水産業は最高の教材

- 命を育む生産活動の尊さを知る。
- 生産者や食事をつくる保護者への感謝の気持ちを持つ。
- 自然と触れ合い、体力の向上を図る。



25年後は

小学校、中学校の時間割に
「農林水産」の授業がある。

文化
都市

教育・食育

「食」は健康の源

「朝ごはんを食べない」
「好きなものしか食べない」
「食べ残しが多い」

「食」の大切さに対する意識が希薄

「食生活の乱れ」

肥満や生活習慣病が増加

「食」を大切にすることで、
健康で元気な体をつくる。
(医食同源)

文化
都市

癒し、潤い
の創造

癒し、潤いのある空間の創造 (自然共生型ため池)



整備前
(Before)

整備後
(After)



快適
都市

癒し、潤い
の創造

癒し、潤いのある空間の創造 (田園、牧場、海辺)



癒し、潤い
の創造

癒し、潤いのある空間の創造 (田園、牧場、海辺)



快適
都市

癒し、潤い
の創造

農業による生活の充実

○家庭で空いた時間に楽しむ
→ 家庭菜園(ふち農業)



○週末など余暇を利用して楽しむ
→ 市民農園(週末ファーマー)



○晴耕雨読の生活を楽しむ
→ 新規就農、農業塾

文化
都市

癒し、潤い
の創造

自然の中で楽しむスポーツ

- ・マリンスポーツ
(サーフィン、水上スキー)
- ・トレイルランニング
- ・トライアスロン



25年後は

豊かな自然を有する福岡市で
国際大会が開催される。

文化
都市

癒し、潤い
の創造

福岡市は全国有数の花き産地

花や緑は、日々の暮らしに「癒し」、「潤い」を創造



また、愛の伝達の手段にも……。

快適
都市

食・健康

農産物の安全・安心対策への
市民ニーズ、関心は高い！

【平成22年度市政に関する意識調査】

Q 今後重点的に取り組むべきと思う施策

- 1位 農産物の安全・安心対策の推進 (59.0%)
- 2位 農産物の安定供給を図るための施策(54.4%)
- 3位 市内産農産物の消費拡大(52.5%)



食・健康

食の安全・安心

減農薬に取り組む生産者の「顔が見える」農作物



食の安全



消費者の安心



食・健康

食の安全・安心

安全、安心な食べ物を
「いつでも」「十分な量を」
提供する市場、物流機能

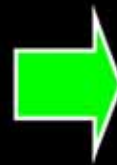


交流
都市

食・健康

朝市・夕市・直売所

- 新鮮な農作物、魚介類の販売
- 生産者と消費者の交流
- 都市と農村の交流



農林水産業の
理解促進

農村地域の
活性化



交流
都市

経済振興

地元の食材



魅力ある観光資源



経済振興

魅力ある福岡の食文化を支える農林水産業



経済振興

福岡は海が近く、魚が新鮮

- 博多漁港は取扱金額が全国1位
- 福岡は、生産・流通・消費が近接しており、新鮮な魚が食べられる。

この魅力(強み)をもっと活かすべき

25年後は

「福岡」と言えば誰もが「美味しい魚」に

「福岡」は「鮮魚のメッカ」に

文化
都市

経済振興

九州大学(農学部)が
農業振興地域の西区元岡に移転

九州大学(農学部)との共同研究、知の集積

開発した農業新技術、改良品種、
環境配慮型の減農薬農法を
「知的財産」として海外へ輸出。

25年後は

海外から、研究者、
労働者など人材を受入れ(輸入)

知識(技術)と人材の
貿易、交流が盛ん。

交流
都市

このように様々な分野で
文化的都市を
支えている農林水産業

私たちはこれから
農林水産業をどのように
「デザイン」していくか。

25年後は

「洗練された都市」として、都市基盤、
交通基盤などが秩序をもって
整備されるとともに、
豊かな自然の中で、農林水産業が
生き活きと行われている。

25年後は

都市の中で、農林水産業が
生き活きと行われていることが、
「都市の風格」を表し、
都市の国際的な評価の指標の
1つになっている。

25年後は

魅力ある農林水産業に、
Pride(誇り)を持って従事する
若者が増えている。

25年後は

市職員は、
農林水産業によって
市民満足＝「真の豊かさ」
を創造し、
Pride(誇り)を持って仕事をしている。

政令市で唯一の
「農林水産局」
には、きっと意味がある。

25年後にも伝えたい。

志賀島の朝市



25年後にも伝えたい。

青年農業者による直売



25年後にも伝えたい。

女性農業者による小学校での
味噌づくり指導



25年後にも伝えたい。

早良区脇山の風景



25年後にも伝えたい。

能古島の風景



25年後にも伝えたい。

森林施業



25年後にも伝えたい。

沿岸漁業



25年後にも伝えたい。

沖合漁業



25年後にも伝えたい。

栽培漁業(アサリの放流)



25年後にも伝えたい。

海づり公園



25年後にも伝えたい。

鮮魚市場のせりの様子



25年後にも伝えたい。

鮮魚市場のせりの様子



農林水産局
職員提言検討チーム

石川あゆ子
別府 浩司
河野 仁美
梶原 麻衣
立花 基
反田 俊典
安川 浩平
中石 康徳
仲原 善信

アドバイザー
松本 勉

協力
赤木 崇展

おしまい

